



Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)11月10日
 会長：増田 盛英
 幹事：高木 勝
 クラブ広報委員長：岩崎 道夫

例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋
 事務局：460-0008
 名古屋市中央区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号

TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2009～2010年度
 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーの未来はあなたの手の中に
 2009～2010年度
 RI会長 ジョン・ケニー

故 中川啓二郎さんを偲ぶ

去る3月4日6時19分、当クラブ会員中川啓二郎さんがご逝去されました。会員の皆様にとって誠に残念なことと存じます。

ここに名古屋瑞穂ロータリークラブ会員増田盛英会長・野崎洋二さん、台北延平RC会員クラウンさんの弔辞を掲載し、亡き中川啓二郎さんを偲ぶことにします。

謹んで御冥福をお祈りします。

追悼文

2009～2010年度 会長 増田 盛英

中川啓二郎さん、あなたは、1980年(昭和55年)1月10日入会のチャーターメンバーでした。

中川さんと私の思い出は沢山ありますが、1992年～93年度に私は会場委員長をおおせつかっておりました。実は、中川さんを委員会委員にお願いしますと当時の近藤雄亮幹事をお願いしました。そのころは、会長挨拶のときに結構私語が多かったのです。そして「お静かに」と言う看板を会場委員会の委員が私語をしている会員に掲げるのです。私たち若手の会員がそれをしなすとその会員にあまり通じませんでした。中川さんにお任せしておくという非常にスムーズに行った訳であります。それから今でもそうなのですが、会場委員会は、毎回の例会の司会を委員会の中で委員長が決めます。私もそのように致しました。

しかし、中川さんは司会担当の当日に「増田君今日は行けなくなったので、司会の方はよろしく頼む」と電話をかけてくるのが数回ありました。私は、大先輩であるし色々お世話になっているから仕方ないかと諦めておりました。

ところが、年が明けた2月頃に「おい、増田君今までの借りは返すよ」とおっしゃって何と5回か6回連続して司会進行をしてくださいました。「中川さん無理しなくても良いですよ」と言いましたが、あなたは「自分の責任は果たすよ」と言われました。本当にまじめで義理堅い方だと思いました。

そしてもう一つの思い出は、夜の懇親会には、必ずボジョレのピラージュ赤ワインを2本持参されていたことです。1本は自分が飲



む分、もう1本は会員の方に飲んでいただく分とここでも大変気を使われる方でありました。

3月15日に台北延平RCの33周年式典に行って参りました。中川さん、天国で聞いていましたか。当日名古屋瑞穂RCから会員家族20名参加していました。その他に台湾のロータリアンが300名近く出席しておりましたが、全員で中川さんに黙祷をしました。台北延平RCのお気遣いに感謝しましたが、これは中川さんのお人柄による何ものでもありません。黙祷の間、胸が一杯になり泣けてきました。

本当にこんなに突然のご逝去は残念でなりません。どうぞ安らかに眠ってください。合掌

中川啓二郎君を偲んで

野崎 洋二

啓ちゃん!と呼んでも、首を少し傾けてニコリ笑う貴方はもういません。とても悲しく、淋しい思いです。

私と中川啓二郎君との出会いは名古屋瑞穂RCでした。お互いにチャーターメンバーとして強い絆で結ばれました。そして何時しか「オイ、洋二!」「啓ちゃん!」と呼び合う仲間になっていました。私達は表も裏も全てオープン付き合いました。本当に楽しく、愉快的な仲間でした。当時は共に40歳代で大いに仕事に励みました。啓ちゃんはよく「仕事が第一!そしてその分大いに息抜きをするのだ!」と云っていました。全く同感でした。お互いにゴルフが大好きでよく一緒にプレーをしました。彼は三好C.C.のメンバーで、三好ではなかなかの顔役でした。腕前はママアアでしたがプレーは早くマナーの良さは見習う処がありました。

海外旅行の思い出も沢山あります。啓ちゃんは台湾が大好きで



何度も出掛けていた事はご承知の通りです。彼は欧米は余り好まず専ら東南アジアが多く、タイやシンガポール等へお供を致しました。また、かつて韓国ソウルでRIの世界大会が開かれた時には名古屋瑞穂RCからも大勢が参加致しましたが、そ



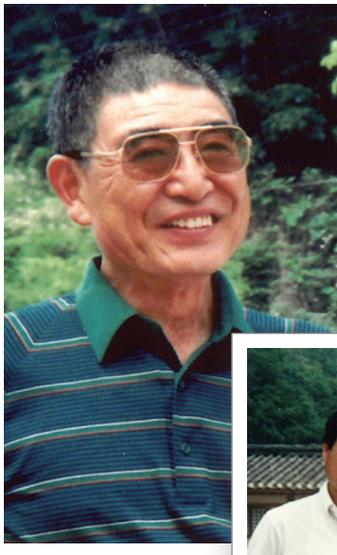
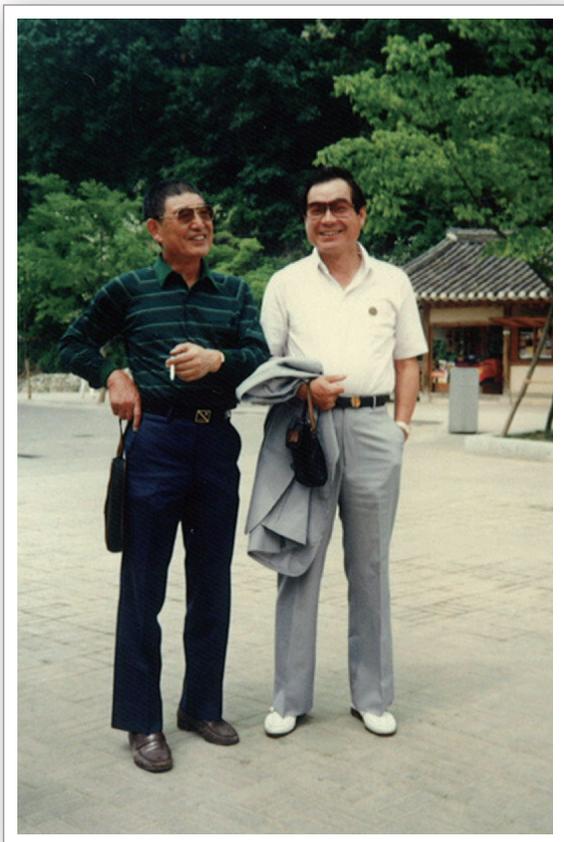
の節、観光でソウルから慶州へ行く際、皆は飛行機で飛んだのですが、私と啓ちゃんの特急列車のセマウル号に乗りました。その道中、食堂車で彼が持ち込んだ赤ワインのボトルを抜いて楽しく始めた処、居合わせた現地の客にからまれて往生した事がありました。幸いその場は食堂車のボーイが仲裁に入り事無きを得ましたが怖い思いを致しました。何でも私達二人が在日韓国人と間違えられたとの事でした。

啓ちゃんはなかなかの食通で中華料理が大好きでした。特に辛い料理が好きで何処へ行くにもワインのボトルと辛い香辛料を持参していました。本当に面白い人でした。

私は啓ちゃんに感心する事がありました。それは人から頼まれると否とは云わず、必ず面倒を見ると云う責任感の強い人だった事です。

もっともっと書きたい事は沢山ありますが紙面の都合上これ迄と致します。

啓ちゃん永い間ご苦労さまでした。そしてお疲れさまでした。ご冥福を心からお祈り申し上げます



追悼文

台北延平RC会員 クラウン

人生には予測できぬことが常に起こりうる。最近この言葉はよく私の頭の中に浮かんでくる。

台北延平RCは名古屋瑞穂RCと提携して早くも24年になった。短いとは言えない年月の中に私は名古屋瑞穂RCの皆様から色々なことを教えていただいて、ただのロータリーメンバー同士だけではなく、心が通じあう友達にもなった。日本の友達と台湾や日本で会うのは私にとって毎年一番楽しみにしているイベントだった。でもここ数年、茶畑様から、橋本様、大和様、足立様と館様が私達から離れていき、特に今年遠山様の奥様、中川様が急に亡くなって、本当に悲しい気持ちで胸がいっぱいだ。

中川様と絆が深くなったのは1995年私の娘ペペが名古屋に留学しに行った時からだった。その時、沢山の方々にお世話になり、特に中川様がペペの保証人になり、生活から学校まで様々な面で面倒をみていただいて、ペペが無事に修士卒業できたことは本当に中川様のお陰だと私は常に思っており、感謝している。

中川様は一見冷たそうに見えるが、実はすごく熱心で人に頼まれたらノーと言わず、全力で頼み事を引き受ける素晴らしい方だった。

日本と台湾は離れているが、中川様が毎年何回も友人と台湾まで遊びに来てくれるため、私は中川様と年に何回も会うことができた。中川様が台湾に来るたびに私も時間を作って、おいしい料理を食べに行ったり、観光客が行かないところに遊びに行ったり、楽しい時間を一緒に過ごすことができた。こんな思い出を一生忘れないで大事にしておきたいと思う。

今年の二月ごろに中川様に電話をし、今年いつ台湾に来るか連絡したが連絡が取れなかったため少し心配していた。また連絡したら、もう中川様がなくなったという情報が入ってきて、すごくショックで、悲しい気持ちはなかなかおさまらなかった。中川様がいなくなりとても寂しいが、あの世で楽しく過ごされていることをいつも祈っております。